

本プレスリリースは、株式会社電通総研、株式会社電通、株式会社電通デジタル、イグニション・ポイント株式会社の連名配信のため、重複してお手元に届く場合がございますことを予めご理解ください。

Press Release

電通総研

2025年5月19日

株式会社電通総研

株式会社電通

株式会社電通デジタル

イグニション・ポイント株式会社

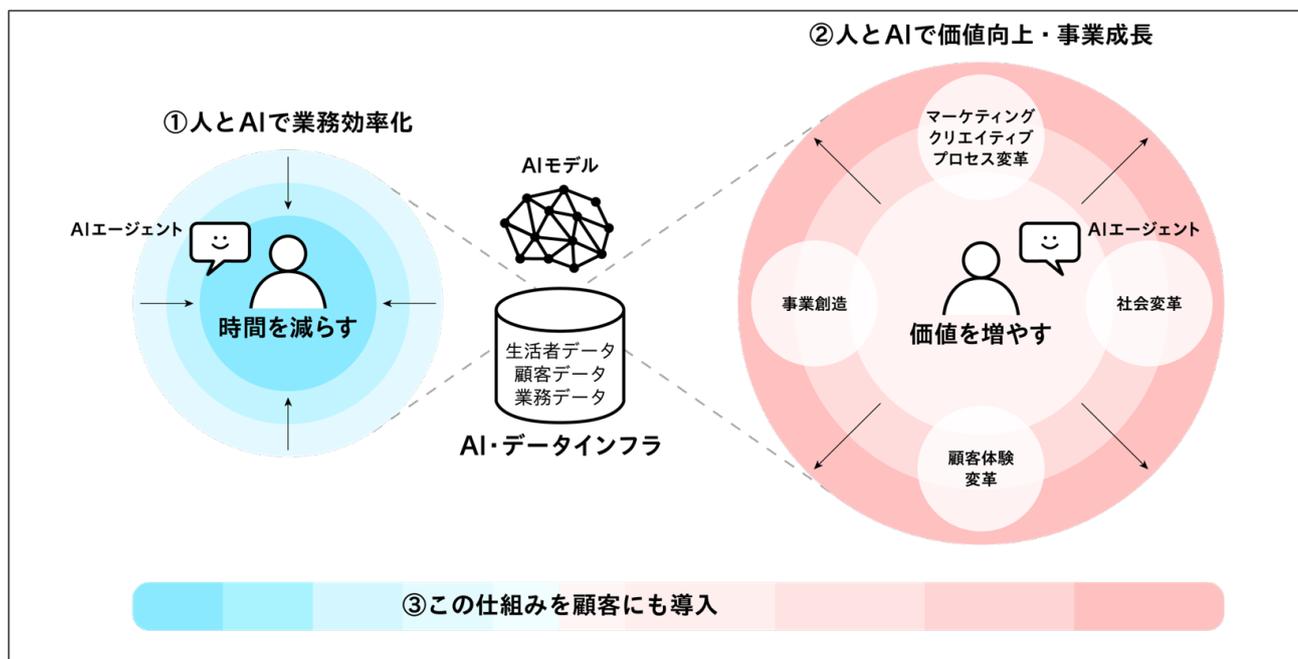
国内電通グループ、

AI ネイティブ化を加速する独自の AI 戦略「AI For Growth 2.0」を発表

－ AI エージェントがマーケティングの全工程をサポート －

国内電通グループの4社（電通総研、電通、電通デジタル、イグニション・ポイント）は、2024年8月に発表した“人間の知（=Intelligence）”と“AIの知”を掛け合わせて顧客や社会の成長に貢献する独自のAI戦略である「AI For Growth」^{※1}を刷新し、2025年5月19日（月）、「AI For Growth 2.0」を発表します。

「AI For Growth 2.0」では、独自のAIアセット（大規模調査データや社内の専門人材知見など）とAI技術を融合させた「AIモデル」の深化により、マーケティング手法に革新をもたらし、その全工程をAIエージェントがサポートするマーケティング領域の「AIネイティブ化」を目指します。これにより「業務効率化」と「価値向上・事業成長」の両輪で顧客や社会の持続的な成長に貢献していきます。



AI・データインフラを起点に、
「業務の効率化」「価値向上・事業成長」という両輪を加速させていく

「AI For Growth」国内電通グループ AI 戦略図

近年、AI 技術は著しい進化を遂げており、企業の意味決定や業務効率化、新規事業の創出など、多岐にわたる場面でその活用が期待されると同時に、AI を効果的に活用できる人財やその活用手法にも注目が集まっています。

当社グループでは、AI 人財育成の一環として、国内グループ 39 社の従業員 1,114 人(2024 年 11 月 25 日時点)が、AI・ディープラーニングの活用リテラシー習得のために「ジェネラリスト検定(G 検定)」^{※2} 資格を取得し、社内業務の効率化や提供サービスの高度化を推進しています。

そしてこの度、「AI For Growth 2.0」のもと、新たに 1 億人規模の AI ペルソナを仮想的に再現する「People Model」を開発しました。また、社内の専門人財(クリエイター、プランナーなど)の知見やアイデア、思考法などを学習させた「Creative Thinking Model(創造的思考モデル)」^{※3} についても、その機能を拡充し、ビジュアルアイデアの生成を可能にしています。

これらの概要は次の通りです。

■「People Model」の概要

電通が独自構築している大規模調査データ^{※4} を、Large Language Model(大規模言語モデル、LLM)を活用してファインチューニングすることで、1 億人規模の高解像度なペルソナを仮想再現する AI モデルです。従来の限定的なペルソナとは異なり、多人数・多層のペルソナ群を定義できるため、時間の制約を受けずに、学習データのない未知の質問に対するアンケート調査やマーケットシミュレーションの実施を可能にしました。従来モデルに比べ、アンケート機能が大幅に拡張されたこの独自のアンケートシステムについては、現在、特許出願中です。

① アンケート調査の高精度なシミュレーション

設問数に制限はなく、コンセプトやクリエイティブアイデアの高速な検証が可能。

② 自由自在な仮想インタビュー

調査対象者の確保が難しい属性についても、自由自在にインタビューすることが可能。

■「Creative Thinking Model(創造的思考モデル)」におけるビジュアルアイデア生成機能の概要

2024 年 8 月に発表した AI 広告コピー生成ツール「AICO2」^{※5} に続く第 2 弾として、東京大学 AI センター^{※6} との共同研究結果をもとに、「Creative Thinking Model(創造的思考モデル)」の機能を拡充し、社内の専門人財の発想プロセスを学習した AI が、高度なビジュアルアイデアの生成を実現しました。本手法は従来手法と比較して有意な向上^{※7} が見られ、専門人財のノウハウを AI 化した手法として特許出願中です。

〈People Model 概要イメージ図〉

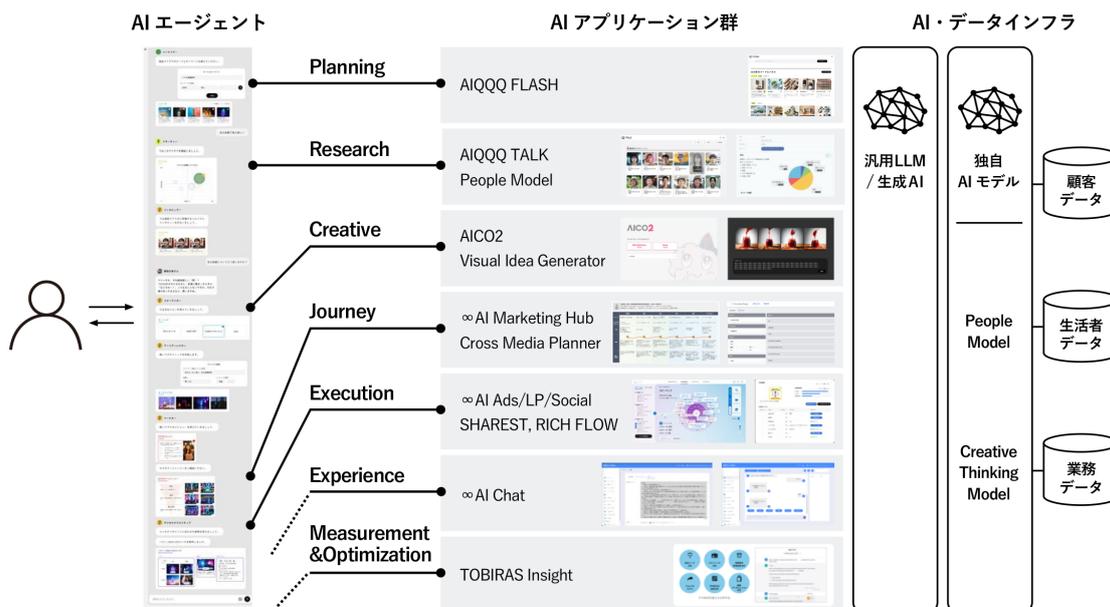


〈Creative Thinking Model ビジュアルアイデア生成例〉



上記2つの独自 AI モデルの構築に加え、電通の「AIQQQ FLASH」「AIQQQ TALK」、電通デジタルの「∞AI[®]」、両社の「AICO2」などの AI アプリケーション群とのデータの連携を図ることで、ユーザーとの対話を通じて自律的に最適な答えを導き出す「統合マーケティング AI エージェント」の開発にも取り組んでいます。この AI エージェントは、当社グループ内の活用にとどまらず、今後は顧客向けにも提供していく予定です。

さらに、業務プロセス改革(BPR)への伴走支援や、顧客ニーズに応じたカスタマイズ型 AI エージェントの開発・導入などにより、マーケティング業務の高度化・高速化・効率化・内製化の実現と、顧客の AI トランスフォーメーションを統合的に支援していきます。



マーケティング全工程における「AI ネイティブ化」イメージ図

今後も当社グループは、独自の AI 戦略である「AI For Growth 2.0」を基盤に、これまでにない AI 活用を推進し、顧客や社会の成長に貢献していきます。



国内電通グループは、“人間の知(=Intelligence)”と“AI の知”の掛け合わせによって、顧客や社会の成長に貢献していく独自の AI 戦略「AI For Growth」を推進しています。

AI For Growth については、以下ウェブページをご確認ください。

https://www.dentsu.co.jp/labo/ai_for_growth/index.html

※1 「人間の知(=Intelligence)”と“AI の知”の掛け合わせによって、顧客や社会の成長に貢献していく」という、国内電通グループの独自の AI 戦略。 <https://www.dentsu.co.jp/news/release/2024/0805-010762.html>

※2 一般社団法人日本ディープラーニング協会(JDLA)が実施するディープラーニングをはじめとする AI に関するさまざまな技術的手法やビジネス活用のための基礎知識を十分に有していることを認定する検定。
<https://www.japan.dentsu.com/jp/assets/pdf/news/2025001-0123.pdf>

- ※3 電通の専門人財(コピーライター、マーケターなど)の創造的思考方法(プロセス・推論能力など)を学習させた AI モデル。
- ※4 株式会社電通が約 15 万人(約 30 業種)に対して年2回実施している、価値観・メディア接触などの意識調査データ。
- ※5 電通コピーライターが長年培ってきた思考プロセスを学習した AI 広告コピー生成ツール。
<https://www.dentsu.co.jp/news/release/2024/0805-010761.html>
- ※6 国立大学法人東京大学次世代知能科学研究センター
現状の人工知能技術の枠組みとその限界を超え、真に人間のためになり、将来の社会、産業、経済、文化、学術を駆動する新たな次世代知能科学体系の構築と応用に取り組む研究組織。<https://www.ai.u-tokyo.ac.jp/ja/>
- ※7 総合評価:約 6.9%、クオリティ:約 6.0%、インパクト:約 12.5%、明確さ:約 5.5%、比喩的表現:約 12.8%、好感度:約 6.3%、時代性:約 6.2%、問題提起:約 6.8%と、それぞれで有意な向上が見られた(N=1000, p<0.001)。

<ご参考資料>

国内電通グループ各社の主な AI 関連サービス、プロダクトは以下のとおりです。

株式会社電通総研 <https://www.dentsusoken.com/about/company>

- 複数の AI エージェントアプリケーションを利用できるプラットフォーム「Know Narrator AgentSourcing」
https://www.dentsusoken.com/news/release/2025/0424_2.html
- 複数の AI エージェントアプリケーションを利用できる企業向けプラットフォーム「Know Narrator AgentSourcing」
<https://aitc.dentsusoken.com/products/knownarratoragentsourcing/>
- エンタープライズ向け生成 AI 活用ソリューション「Know Narrator」シリーズ
対話型生成 AI ソリューション「Know Narrator Chat」
<https://aitc.dentsusoken.com/products/knownarratorchat.html>
社内文書参照ソリューション「Know Narrator Search」
<https://aitc.dentsusoken.com/products/knownarratorsearch.html>
生成 AI 利用履歴分析ソリューション「Know Narrator Insight」
<https://aitc.dentsusoken.com/products/knownarratorinsight.html>
- 企業向け ChatGPT ソリューション「Know Narrator」で最新 LLM モデル「GPT-4o」の適用を開始
<https://www.dentsusoken.com/news/topics/2024/0605.html>
- 自治体向けにセキュアな生成 AI 環境を実現する SaaS 型ソリューション「minnect AI アシスト」を藤沢市へ導入
<https://www.dentsusoken.com/news/release/2024/0416.html>
- LGWAN で利用可能な自治体向け生成 AI「minnect(ミネクト) AI アシスト」の最新バージョンを提供開始
<https://www.dentsusoken.com/news/topics/2025/0115.html>
- 実践的 AI/データ活用人材育成ソリューション「HUMABUILD」
<https://mfg.dentsusoken.com/product/ai/service/humabuild.php>
- 伴走型 AI/データ活用支援ソリューション「XSTAIGE(クロスステージ)」
<https://aitc.dentsusoken.com/products/xstaige.html>

株式会社電通 <https://www.dentsu.co.jp/aboutus/summary/>

- AI×クリエイティブで事業・サービス開発を支援する「AIQQQ STUDIO」
<https://www.dentsu.co.jp/news/business/2024/0221-010685.html>
- Google の AI「Gemini」を活用した 企画セッション「AIQQQ SESSION on Gemini」
<https://www.dentsu.co.jp/news/release/2024/1223-010826.html>

- AI コピーライター「AICO2」が音声広告にも対応「AICO AUDIO AD PROJECT」発足
<https://www.dentsu.co.jp/news/release/2024/1015-010789.html>
- 電通のコピーライターの思考プロセスを学習した、AI 広告コピー生成ツール「AICO2」
<https://www.dentsu.co.jp/news/release/2024/0805-010761.html>
- 東大 AI センターとの共同研究「AI との協働による人の創造性の拡張」
<https://www.dentsu.co.jp/news/business/2024/0513-010723.html>
- 子どもが覚えた言葉で、AI が絵本を自動生成「おぼえたことばのえほん」を無料公開
<https://www.dentsu.co.jp/news/release/2024/1025-010793.html>
- マグロ品質判定 AI「TUNA SCOPE」を活用し 東南アジアで水産業の SDGs 事業に挑戦
<https://www.dentsu.co.jp/news/release/2025/0218-010841.html>
- 生成 AI を活用した対話ロボット「CHABOT」
<https://www.dentsu.co.jp/news/business/2023/1005-010649.html>

株式会社電通グループ <https://www.group.dentsu.com/jp/about-us/data-location.html>

- データ/AI プライバシーの処理基盤を提供する 米国「Skyflow 社」に出資
<https://www.group.dentsu.com/jp/news/release/001251.html>
- アマゾンウェブサービス(AWS)との連携拡大 生成 AI サービスによる顧客支援を強化
<https://www.group.dentsu.com/jp/news/release/001110.html>
- AI を活用したバーチャルキャラクター制作のためのプラットフォームを提供する米国「インワールド AI 社」に出資
<https://www.group.dentsu.com/jp/news/release/001042.html>
- 「グーグル社」と提携を拡大 AI 活用による顧客体験マネジメントを強化
<https://www.group.dentsu.com/jp/news/release/001013.html>
- 「セールスフォース社」と提携を拡大 AI 活用による顧客体験マネジメントを強化
<https://www.group.dentsu.com/jp/news/release/001009.html>

株式会社電通デジタル <https://www.dentsudigital.co.jp/about/corporate-data>

- AI を活用した統合マーケティングソリューションブランド「∞AI」
<https://www.dentsudigital.co.jp/services/AI/mugen-ai>

イグニッション・ポイント株式会社 <https://www.ignitionpoint-inc.com/company/>

- イグニッション・ポイント、AI エージェントを活用した新たなビジネスモデル変革支援サービスを開始
https://www.ignitionpoint-inc.com/newsroom/date/20250131_PressRelease.pdf
- 「イグニッション・ポイント AI Innovation Hub」を設立
https://www.ignitionpoint-inc.com/newsroom/date/20241002_PressRelease_AI-IH.pdf
- 生成 AI 時代の DX デザイナー育成プログラムを開始
https://www.ignitionpoint-inc.com/newsroom/date/20240528_PressRelease_dxhrd.pdf
- 先端技術研究とデータアナリティクスを組み合わせたデータ利活用ソリューション「BRIDGE」
https://www.ignitionpoint-inc.com/newsroom/date/20240329_PressRelease_DataUtilization.pdf
- 生成 AI の利活用およびサービス構築を伴走支援するコンサルティングサービスを開始
https://www.ignitionpoint-inc.com/newsroom/date/20230607_PressRelease_ChatGPT.pdf

■ 企業の現在地点に応じた伴走型支援:生成 AI コンサルティングサービス

https://www.ignitionpoint-inc.com/newsroom/date/20240131_Press%20Release_Generative%20AI.pdf

■ 電通総研について <https://www.dentsusoken.com>

電通総研は、「HUMANOLOGY for the future～人とテクノロジーで、その先をつくる。～」という企業ビジョンの下、「システムインテグレーション」「コンサルティング」「シンクタンク」という3つの機能の連携により、企業・官庁・自治体や生活者を含めた「社会」全体と真摯に向き合い、課題の提言からテクノロジーによる解決までの循環を生み出し、より良い社会への進化を支援・実装することを目指しています。

テクノロジーや業界、企業、地域の枠を超えた「X Innovation(クロスイノベーション)」を推進し、これからも人とテクノロジーの力で未来を切り拓き、新しい価値を創出し続けます。

- * 電通国際情報サービス(ISID)は、電通総研へ社名を変更しました。
- * 本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

株式会社電通コーポレートワン ブランディングオフィス 広報室 広報部 河南、山中、李、蕪山

Email: koho@dentsu.co.jp

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通総研 コーポレートコミュニケーション部 山田

TEL:03-6713-6100 E-Mail: g-pr@group.dentsusoken.com